



ゆりかもめ



動物ふれあい体験の1コマ

もくじ

表紙	1
施設長のつぶやき 葛飾地区キックオフ ・理念A研修	2
慰労会 ふれあい動物体験	3
みんなのページ	4



社会福祉法人武蔵野会

きね川福祉作業所

東京都葛飾区東四つ木3-8-10

電話 03(3694)1577

FAX 03(5698)1757

E-mail: kinegawa2939@coda.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.yurikamome.info/>



施設長のつぶやき

施設長 本田 直記



今回の広報「ゆりかもめ」は、いつもと少し違う誌面構成になっています。お気づきになりましたか。誌面が活字だらけだと、どうしても読むのは後回しになってしまいます。そこで、少しでもきね川福祉作業所と購読される皆様との距離感が縮まれば良いとの思いから、コーナー毎に分かりやすい記載に変更しています。

平成18年6月18日に広報「ゆりかもめ」創刊号は発行されています。ちょうど「後期高齢者医療制度」や「障害者自立支援法」がスタートした頃で、大きく制度が変わった時期でもありました。あれだけ大きな変化と感じた出来事も、今は当たり前になっているのを感じます。

利用者の入れ替わり。職員の入れ替わりがある中であっても「きね川福祉作業所」は、「利用者の皆さんに寄り添い、その力を発揮してもらう為に支援する」事を柱にします。併せて「利用者の皆さんが何を求めているか。表現している言葉の奥にある本意は何かを考える努力を惜しまない」この2つは、これから高齢化や事業収入の減少があったとしても大切にしていきます。

きね川福祉作業所の責任者も、須永正施設長、大和田卓施設長を経て今年本田がバトンを引き継ぎました。利用者の思い、家族の思い、社会福祉法人への地域からの期待等、多くの想いを継承していきます。



利用者さんの笑顔が溢れるきね川福祉作業所を目指して職員一同頑張ります。

新たな年度を迎えて コロナ禍での支援の模索

～葛飾地区キックオフ・理念A研修～

4月23日（金）に法人葛飾地区施設のキックオフと理念A研修が行われました。コロナ禍以前は同一会場に集まり、各施設の現況や抱負などを説明する機会でしたが、感染予防のため今年度は、各施設をカメラで繋ぎ、Zoomを使って実施しました。

慣れない環境での報告でしたが、それぞれ大変な思いをしながらも、途切れない利用者支援のため、立ち向かっていく意気込みに触れる集いとなりました。

理念A研修では、本田施設長の福祉に対する思いを感じる機会となり、自分自身の振り返りに繋がるきっかけになりました。（臼田）

笑顔あり涙あり、年度の締めくくり！

～慰労会・お別れ会～



大和田施設長ありがとうございました。
長い間、お疲れさまでした。

3月31日（水）「慰労会・お別れ会」が行われました。お菓子を食べながら皆で一年間の労をねぎらいました。また今回は、年度末できね川福祉作業所を移動になる利用者さんと定年退職される施設長のお別れ会も併せて行いました。お別れするお二人との思い出が詰まったスライドを皆で鑑賞し、懐かしい思い出を振り返りながら別れを惜しむひとときを過ごしました。お二人のこれからのご多幸を祈りつつ、これからもきね川で共に過ごす皆さんとたくさんの楽しい出来事を共有したいと職員一同思いました。（赤澤）

せっかくだから、みんなでもふもふ！ 楽しい&嬉しいをおすそわけ

～ふれあい動物体験～

5月28日に動物ふれあい体験を行いました。昨年9月にも来ていただいた（公財）ハーモイセンターの皆様がヤギ、モルモット、ウサギを連れてきて下さいました。ハーモイセンターはクラウドファンディングを行い、集まった寄付金で障害児（者）施設に動物ふれあい体験をプレゼントしています。「コロナ禍にあり、旅行や外出に気軽に行けない障害児（者）にすこしでも笑顔をとどけたい！」という想いからはじまった企画だと聞きました。

このお話しをいただいた時、「もっと多くの人にも楽しんでもらいたい！」と思い、こひつじ保育園の皆様と東堀切くすのき園の皆様を招待する運びとなりました。

当日はこひつじ保育園の園児50名、東堀切くすのき園の利用者さん3名が参加しました。中庭には園児たちの弾けるような笑い声が響き、きね川の利用者も職員も仕事をしながらそわそわ…休み時間にはみんなで窓から乗り出して「よく来たねー！」「こんにちは！」「またきてねー！」と手を振りました。

午後になり、フロアごとにふれあい体験をしました。モルモットをずっと膝にのせて撫でている方、眠ってしまうモルモットとの2ショットが撮れました。「モルモットが怖いな…」という方はヤギのニンジンあげをしました。ヤギは前回できなかったお手ができるようになっていて、パンチのようなお手を楽しみました。動物たちの可愛らしい仕草に皆さん笑顔がこぼれていました。



距離を取りつつも、地域の方とこんなに素敵な交流ができるということ、利用者の皆様はもっともっと色々な表情、素敵な笑顔ができるということを私たち職員は気付かされる一日でした。これからも「コロナだから仕方ない」なんて言わずに「それでももっと楽しくできないだろうか」と一生懸命考えていきたいです。今回は各施設にご協力いただき、感染症対策を徹底し無事に企画を終えることができました。最後になりましたが、ご協力いただいた皆様には心からお礼申し上げます。（石黒）



みんなのページとは…
編集委員（利用者さん）と職員で作るページ
です。今月の挿絵は編集委員の好きなものに
しました。（野球・おかめ・季節の花など）

今後の予定

7月

- 2日 余暇活動
- 8日 クラブ活動
- 30日 夕ミーティング

8月

- 6日 余暇活動
- 12日 クラブ活動
- 20日 夕ミーティング
- 26日 クラブ活動

※かりんと饅頭販売会の予
定は新型コロナウイルス感
染状況により、変更になる
可能性があるため掲載して
いません。

ホームページをご覧いただ
くか直接お問い合わせくだ
さい。



「2人の好きなものを教えてください！」

新入職員へ突撃インタビュー！

①趣味 ②好きな音楽 ③好きなデザート



- ①テニス
- ②ミスチル
- ③ケーキ



- ①音楽
- ②安室奈美恵
- ③チョコバナナ



ボランティアを募集しています！

年間を通して作業のお手伝い（軽作業・公園清掃）や、クラブ活動の補助（スポーツ・音楽・創作）、または行事（外出、旅行お祭り等）のお手伝いをしていただける方を募集しています。

※現在はコロナウィルスの影響によりボランティア受け入れは見合わせています。

登録されている方には再開次第お知らせします。新規の方は直接施設にお問い合わせください。



編集後記 令和3年度に入り、今年
度初の広報誌「ゆりかも
め」を発行することができました。
今年度からデザインをリニューアル
し、より皆様に手にとりいただき、
楽しんでいただける広報誌を目指して
まいります。

きね川福祉作業所の取り組みや利用者
さんの笑顔をお伝えできればと思いま
す。今年度もどうぞ
よろしくお願いいたします。
（1）



後援会ご協力をお願い

社会福祉法人武蔵野会が経営する26施設の利用者のためによりよい環境や施設
の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会后援
会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり、法人の運営基盤
の確立を応援していますので、ご協力お願い申し上げます。

武蔵野会后援会事務局

〒192-0083

東京都八王子市旭町12-4 日本生命八王子ビル 2階 201

電話 042-631-6341

